

# みなとまち新潟 歴史探訪 53

問 歴史文化課  
☎025-278-3260

## 巨大な円墳と濠が周るムラ ～国指定史跡古津八幡山遺跡の発見

昭和62(1987)年、磐越自動車道の建設に伴い土取り場となる予定の古津駅(秋葉区)近くの丘陵地で、遺跡の確認調査が行われました。この土地は「八幡山城跡」と呼ばれる戦国時代の山城とされてきましたが、城跡と思われた平らな部分は円形で、黄色い土が盛られていました。盛り土の下からは弥生時代後期の土器が出土し、古墳時代前期の土器も見つかりました。



調査の結果、遺跡は山城ではなく直径約60mの円墳で、県内最大の古墳であることが分かりました。盛り土の下や周辺からは弥生時代の竪穴住居跡が複数発見され、周囲を濠が囲んでいることも分かりました。高地性環濠集落と呼ばれる「ムラ」の発見です。弥生時代のムラは稲作の水を得やすい低くて平らな土地に造られるのが一般的ですが、見晴らしの良い高台の周囲を濠で囲んだ高地性環濠集落は防御性の高いムラだといえます。



高地性環濠集落(左)と円墳(右)  
(文化財センター提供)

古津八幡山遺跡の発見は、この地に戦いに備えた弥生時代のムラがあり、古墳時代には強大な権力をもつ支配者が現れたことを物語っています。

連載



## 竹徳かまぼこ (中央区・練りもの加工)

歴史ある企業や店舗を訪ねます。

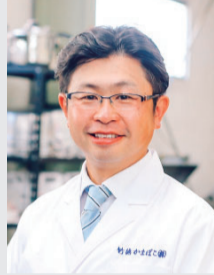
### お祝い事のごちそう かまぼこ

「昭和30年ごろまでの板かまぼこは、職人の手作業で1日に100本程度しか作れない上、傷みやすかったと聞いています。祝いの席や料亭などで食べるごちそうでした」と竹中さん。同社は、昭和40年代に金型で加熱殺菌する「リテーナ成型法」を考案しました。



「特許を取り、水産加工の組合に無償で譲渡しました。製法は全国に普及し、板かまぼこを多くの人に、おいしく食べていただけるようになりました」

### 新潟が詰まった 海老しんじょう



代表 竹中 広樹さん

竹中さんは28歳の時に120年以上続く家業を継ぎ、「海老しんじょう」を発売しました。

「新潟の料亭で作られている揚げしんじょうに、南蛮エビを混ぜました。発売当初、市外の方に『揚げ』を珍しがられ、新潟特有の調理法だと知りました」。商品は看板メニューに成長。「人との出会いで商品が生まれています。出会いを大切にしていきたいです」と話してくれました。

## 歴史的公文書などから新潟の歴史を学ぼう

### 1/8 新潟市文書館開館

歴史的に重要な公文書などを保存・管理する同館は、市民の皆さんが新潟市の歴史を学べる施設です。平成30年3月に閉校した旧太田小学校の校舎を活用し、整備しました。

事前の利用申請により特定歴史公文書の閲覧や複写ができるほか、所蔵資料の展示を見ることができます。

資料の適切な保存と利用提供をすることで、市民の皆さんの歴史調査や研究活動を支援します。



#### 特定歴史公文書とは

新潟市政を検証するために後世に残すべき重要な文書のうち、以下のもの

- 行政文書で保存期間が満了したもの
- 個人から寄贈を受けたものなど



◀新潟市の上水道敷設についての資料(県指定文化財)。明治以降の新潟市の水事情を知ることができる

新潟地震によって落下した昭和の大橋(昭和39年)。当時の被害状況が記録されている



所在地 北区太田862-1

時 9時～17時 ※1月8日(土)は13時から。日・月曜、祝・休日休館

問 同館(☎025-278-3260、FAX025-278-3328、✉bunshokan@city.niigata.lg.jp)



スマートフォンは  
こちらから

### 資料を閲覧・複写するには

#### 手順① 資料の有無や当日閲覧の可否を確認

自宅のパソコンなどから検索、または電話で同館へ問い合わせてください。

新潟市文書館所蔵資料検索システム

※同システムは1月8日(土)から利用可能

#### 手順② 利用の申請

利用請求書に必要事項を記入し、郵送、メール、FAXまたは直接同館へ提出してください。 ※利用請求書は新潟市ホームページに掲載予定。同館でも配布

#### 手順③ 利用の審査

原則、申請から15日以内に利用の可否を通知します。

#### 手順④ 閲覧・複写

資料の閲覧・複写ができます。 ※複写は要実費

